

ダムの安全性点検等の概要

水力発電所等の水利使用規則によるダムの安全性に関わる報告データの改ざん等不適切な取扱いがあった、当社野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム、上来沢川ダムについて、昨年度に引き続き、「ダム安全性等評価委員会（第三者委員会）」による安全性点検を実施した。

1. 対象ダム

- ・ 野反ダム（切明発電所：20,000 k W）：群馬県吾妻郡中之条町
- ・ 奈川渡ダム（安曇発電所：623,000 k W）：長野県松本市
- ・ 水殿ダム（水殿発電所：245,000 k W）：長野県松本市
- ・ 玉原ダム（玉原発電所：1,200,000 k W）：群馬県沼田市
- ・ 上来沢川ダム（小武川第三発電所：2,200 k W）：山梨県韮崎市

2. 国土交通省からの指示内容（2007年5月16日付命令書）

- ・ 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
今後10年間を自己点検計画の検証期間とし、第三者によるダムの安全性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
*初年度の点検・報告を2007年度に実施したため、2016年度まで継続。
- ・ 上来沢川ダム
今後10年間を是正計画の検証期間とし、第三者によるダム管理の適正性点検を行い、その結果を関係当局に報告すること。
*初年度の点検・報告を2008年度に実施したため、2017年度まで継続。

3. 第三者委員会および自己点検による堤体の安全性等の点検結果

- ・ 野反ダム、奈川渡ダム、水殿ダム、玉原ダム
第三者による堤体の安全性の点検について、第三者委員会に依頼し、堤体の巡視・点検結果および計測データ等の状況を確認し、堤体の安全性点検を実施した。その結果、いずれのダムも安全性について問題がないことを確認した。
- ・ 上来沢川ダム
同委員会のもと、ダムの安全管理に関する計測・巡視・点検の実施状況について点検を実施した。その結果、ダム管理の適正性について問題のないことを確認した。

以上

<参考>

1. ダム安全性等評価委員会（「第三者委員会」）

・構成

委員長 大町 達夫 東京工業大学名誉教授
 委員 水野 光章 元（財）水資源協会専務理事
 松本 徳久 元 政策研究大学院大学客員教授
 柳川 城二 （一財）ダム技術センター理事長

・開催実績

2016年 10月17日、10月18日、11月14日（玉原ダム・野反ダム現地点検・書類点検）
 // 11月28日 （奈川渡ダム・水殿ダム・上来沢川ダム書類点検）
 // 12月20日 （最終評価委員会）

計3回

2. 各ダムの概要

| ダム名 | <small>のぞり</small> 野反ダム | <small>ながわど</small> 奈川渡ダム | <small>みどの</small> 水殿ダム |
|--------|----------------------------|------------------------------|----------------------------|
| 所在地 | 群馬県吾妻郡中之条町 | 長野県松本市 | 長野県松本市 |
| 発電所名 | 切明発電所 | 安曇発電所 | 水殿ダム |
| 型式 | コンクリート表面遮水 壁型ロックフィルダム | コンクリートアーチ式 ダム | コンクリートアーチ式 ダム |
| 高さ（m） | 44.000 | 155.000 | 95.500 |
| 堤頂長（m） | 152.500 | 355.514 | 343.340 |
| 竣工年月 | 1956年6月 | 1969年6月 | 1970年6月 |

| ダム名 | <small>たんばら</small> 玉原ダム | <small>かみくりざわがわ</small> 上来沢川ダム |
|--------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 所在地 | 群馬県沼田市 | 山梨県韮崎市 |
| 発電所名 | 玉原発電所 | 小武川第三発電所 |
| 型式 | 中央土質遮水壁型 ロックフィルダム | コンクリート重力式ダ ム（表面張石コンクリ ート造り） |
| 高さ（m） | 116.000 | 19.020 |
| 堤頂長（m） | 570.100 | 49.580 |
| 竣工年月 | 1982年12月 | 1927年12月 （改築：2009年3月） |

以 上